

教科(科目)	地理歴史(日本史特論)	単位数	3単位	学年(コース)	6学年 (国際文化コース)
使用教科書	山川出版社『詳説日本史』 清水書院『高等学校新倫理』				
副教材等	浜島書店『新詳日本史』 とうほう『ウィニングコンパス日本史の整理と演習 2023』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に着け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3 指導の重点

- 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。また、日本思想の歴史的背景を考察する過程を通して、諸資料から、人間としての生き方に関わる情報を調べ、まとめる技能を身につけるようにする。
- 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、日本思想の歴史的背景について、多面的・多角的に考察したり、諸課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 我が国の歴史の展開に関わる諸事象や日本思想の歴史的背景について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、日本国民としてまた現代社会に生きる人間としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

4. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能、また日本思想の歴史的背景を考察する過程を通して、諸資料から、人間としての生き方に関わる情報を調べ、まとめる技能を身につけている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、日本思想の歴史的背景について、多面的・多角的に考察したり、諸課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に考察したり、それらを基に議論したりすることができる。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象や日本思想の歴史的背景について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、日本国民としてまた現代社会に生きる人間としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数	学習活動（指導内容）	評価方法
4	対外交渉史① 文字史料から見る古代の日本	9	・『魏志』倭人伝をテキストとし、その他の中国史書・国内外の金石文等の文字史料も用いて、国家統一過程の日本の姿と東アジア世界との関係を考察する。	課題提出 定期考査
	対外交渉史② 史料からみる中世の日明関係		・『善隣国宝記』等を用いて、室町幕府の外交を考察する。また、倭寇図巻をもとに、倭寇についても考察する。	課題提出 定期考査 課題提出 授業の取り組み

5	<p>対外交渉史③ 宣教師が見た戦国期～江戸初期の日本</p> <p>対外交渉史④ 史料から見る近世後期の外交</p>	1 2	<p>・耶蘇会士日本通信、ルイス＝フロイスの『日本史』などをテキストとし、キリスト教受容史、ヨーロッパ人が見た戦国期～江戸初期の日本の姿を考察する。</p> <p>・『ペルリ提督日本遠征記』、『北槎聞略』などを用いて、開国前後の日米関係、日露関係を考察する。</p>	<p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 授業の取り組み</p>
6	<p>対外交渉史⑤ 大久保利通がみた欧米</p> <p>政治史① 絵画史料から見る摂関政治～院政期</p>	1 2	<p>・『特命全権大使米欧回覧実記』などを用いて、明治期の対外関係、欧米文化の受容のあり方を考察する。</p> <p>・『伴大納言絵巻』・『平治物語絵巻』などの絵画史料を用いながら、平安初期から院政期までの主要事件を考察する。</p>	<p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 授業の取り組み</p>
7 8	<p>政治史② 絵画史料から見る鎌倉時代</p> <p>政治史③ 明治憲法体制の成立</p> <p>民衆史 説話集と絵画史料からみる古代・中世の民衆</p>	1 5	<p>・『蒙古襲来絵巻』・『男衾三郎絵巻』などを用いて、鎌倉時代の政治史を考察する。</p> <p>・『伊藤博文伝』、政治経済の資料集などを用いながら、明治憲法の成立過程と日本国憲法との違い、諸法典の内容などを考察する。</p> <p>・『今昔物語集』・『一遍上人絵伝』をメインテキストに古代・中世の経済、民衆の姿を考察する。</p>	<p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 授業の取り組み</p>
9	<p>交通史① 越後を旅した人々</p> <p>交通史② 昔の燕の景観を考える</p>	1 2	<p>・『梅花無尽蔵』(万里集九)・『永禄六年北国下り遣足集』・『東北遊日記』(吉田松陰)・『西遊草』(清川八郎)・『日本奥地紀行』(バード)など新潟県を旅した人々の記録を用いながら、古代～明治期の交通史を考察する。</p> <p>・古代～近世までの絵地図、陸軍陸地測量部の地図を用いながら、近年までの燕市周辺の交通のあり方を考察する。</p>	<p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出 授業の取り組み</p>
10	<p>思想史① 仏教の受容</p> <p>思想史②</p>	1 2	<p>・倫理で学んだ日本仏教史の特質とその変遷を、各時代の政治・社会情勢を踏まえて考察する。</p> <p>・倫理で学んだ主要な近世儒学者の思想を、その背景となった政治・社会情勢を踏まえて考察する。</p>	<p>課題提出 定期考査</p> <p>課題提出</p>

	儒学の発達			定期考査 課題提出 授業の取り組み
11	思想史③ 蘭学・民衆思想 思想史④ 明治の思想	1 2	・倫理で学んだ蘭学などの思想を、幕府の政策を踏まえて考察する。 ・啓蒙思想から国粹主義への転換を、東アジア情勢の変化を背景に考察する。	課題考査 定期考査 課題考査 定期考査 課題提出 授業の取り組み
12	特編	9	・これまで学習してきた日本史の知識を活用し、総合的な演習を行う。	課題提出 課題提出 課題提出 授業の取り組み
1	特編	9	・これまで学習してきた日本史の知識を活用し、総合的な演習を行う。	課題提出 課題提出 課題提出 授業の取り組み
2	学習を振り返って	3	・自分の考えをまとめて発表し合ったり、記録(レポート)として残す作業を行う。	課題提出 課題提出 課題提出 授業の取り組み

計 105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・单元ごとの授業プリント、レポート、振り返りシート。
- ・その他の諸課題。

8 担当者からの一言

「歴史総合」「日本史探究」の学習によって身につけた資質・能力を基に、日本の歴史について地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に現代の日本の課題を探究します。特に史料や図版などを重点的に活用して、深い学びになることを期待します。

(担当：佐藤 優之)